

寒さなんの 歓声響く 子どもたちがそり遊び

弘前

昨年発足した弘前市の「岩木こみちクラブ」の会員たちがこのほど、岩木川河川敷で「そり遊び」と焼きいも大会を開いた。地域の子どもたちが参加し、遊びと食べ物で

子どもたちは、堤防の斜面に積もってきた雪

体を温めた。

同クラブ会員の下町町会連合会と嶽開発岳友会が主催。子どもたちに、寒い冬を健康的に乗り切ってもらおうと企画した。

堤防に積もった雪でそり遊びを楽しむ子どもたち



の坂を、そりやゴムチューブで滑降。「わー」「はーやーい」などと歓声を上げ、冬の遊びを楽しんだ。このほか、河川管理のた

め伐採された雑木でたき火をし、焼き芋も堪能した。

そり遊びをした城西小二年の高橋和麻君(八)は「スリルがあつて楽しかった」と笑顔。同クラブの事務局を務める国交省青森河川国道事務所藤崎出張所の清藤博所長は「今後もクラブとして、さまざま企画を考えていきたい」と話していた。(白鳥遼)